

## 現代数学基礎 BI 4月12日分小テスト解答

担当: 柳田伸太郎 (理学部 A 館 441 号室)

連絡先: yanagida [at] math.nagoya-u.ac.jp

<https://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yanagida/2022B1.html>

**問題.**  $n$  を正の整数とし,  $x_1, x_2, x_3, x_4 \in \mathbb{C}$  とする.  $(i, j)$  成分が  $x_i^{j-1}$  の 5 次正方行列に関する次の等式 (Vandermonde の行列式) を示せ.

$$\det(x_i^{j-1})_{1 \leq i, j \leq 4} = \prod_{1 \leq i < j \leq 4} (x_j - x_i).$$

**解答.** 一般の正整数  $n$  について,  $(i, j)$  成分が  $x_i^{j-1}$  の  $n$  次正方行列の行列式が

$$\det(x_i^{j-1})_{1 \leq i, j \leq n} = \prod_{1 \leq i < j \leq n} (x_j - x_i)$$

となることを示せばよい. 更に複素数  $x_i$  達は可換 (積が可換:  $x_i x_j = x_j x_i$ ) な文字に置き換えて示せば十分. 行列式の定義より左辺は  $x_i$  達の多項式で, それを  $p(x) = p(x_1, x_2, \dots, x_n)$  と表す. 具体的には,  $n$  文字  $\{1, 2, \dots, n\}$  の置換  $\sigma$  の符号を  $\text{sign}(\sigma)$  と書くと

$$p(x) = \sum_{\sigma: n \text{ 文字の置換}} \text{sign}(\sigma) x_{\sigma(1)}^0 x_{\sigma(2)}^1 \cdots x_{\sigma(n)}^{n-1}. \quad (1)$$

また右辺を  $q(x) := \prod_{1 \leq i < j \leq n} (x_j - x_i)$  と書く. 示すべき事は  $p(x) = q(x)$  である.

二つの行が等しい行列の行列式は 0 だから, 任意の  $j = 1, 2, \dots, n$  と任意の  $i \neq j$  について,  $x_j = x_i$  とすると  $p(x) = 0$  (あらわに書くと  $p(x_1, \dots, x_i, \dots, x_j = x_i, \dots, x_n) = 0$ ). すると多項式の剰余の定理から,  $p(x)$  は  $x_j - x_i$  で割り切れる.  $i \neq j$  は任意に取っていて, また  $x_i - x_j = -(x_j - x_i)$  だから,  $p(x)$  は  $\prod_{1 \leq i < j \leq n} (x_j - x_i) = q(x)$  で割り切れる. よって  $x_i$  達の多項式  $r(x)$  を用いて  $p(x) = q(x)r(x)$  と書ける.

次に  $r(x)$  が定数であることを示す. 各  $x_1, \dots, x_n$  を次数 1 と数えて, その時の斉次多項式  $f(x)$  の次数 (つまり全次数) を  $\deg f(x)$  と表す. 定義から右辺  $q(x)$  は斉次多項式で

$$\deg q(x) = \#\{(i, j) \mid 1 \leq i < j \leq n\} = \binom{n}{2} = \frac{1}{2}n(n-1).$$

一方 (1) より左辺  $p(x)$  も斉次多項式で,  $\deg p(x) = 0 + 1 + \cdots + (n-1) = \binom{n}{2}$ . よって  $\deg p(x) = \deg q(x)$ . この事と  $p(x) = q(x)r(x)$  から  $\deg r(x) = 0$ , つまり  $r(x)$  が定数であることが分かる.

最後に  $r = 1$  であることを示す. (1) より,  $p(x)$  における単項式  $m := x_1^0 x_2^1 \cdots x_n^{n-1}$  の係数は恒等置換 id の符号だから  $\text{sign}(\text{id}) = 1$ . 一方  $q(x)$  における  $m$  の符号も 1. よって  $r = 1$ .

**コメント.** 3 点満点で採点しました. 平均点は 2.8 点でした.

模範解答のように解いていた方は全体の 1 割程度しかいませんでした. 行列式の交代性 (二つの行又は二つの列を置換すると値の符号が変わる) をよく復習しておいて下さい.

行列式を展開して直接計算しても示せますが, その方針の場合, 不明瞭な式変形をしていたり不要な場合分けをしている場合には, その都度 1 点ずつ減点しています.

以上です.